

2019年(下半期)の「業界動向」は… 更なる…【遊技機への憂鬱】

そして…【新規則機への進化と移行】

7月～8月～9月～10月～11月～12月>～そして2020年へ！<Ver.8.0>

<業界動向と対策>～@JAPaN／「8月」～参謀会議勉強会

■<7月会議>～

- (01) 6月～新規則機の【適合率】と【適合数】を確認。
- (02) パチンコ業界の「政治活動の未来」像は？
- (03) パチンコ～【突破型】&【高継続】のキーワード。
- (04) いよいよ現実化！～【消費増税】問題を再確認。
- (05) スロット～【外税対応ビジョン】と【スケジュール】確認

■<8月会議>～

- (06) 7月～新規則機の【適合率】と【適合数】を確認。
- (07) 「始動口＝3個賞球」は、【低ベース機】なのか？
- (08) 「参院選」終わって…「政治的」な【ロビー活動】は？
- (09) 「再確認！」…【高射幸性機】の認定切れ撤去の台数。
- (10) これから先、【全国を想像する】事が、重要な思考になる。
- (11) 【喫緊の課題】のまとめ。～「消費増税」&「健康増進法」

■<9月会議>～

■<10月会議>～

■<11月会議>～

■<12月会議>～

(01)6月～新規則機の【適合率】と【適合数】を確認。

■新規則機「保通協適合」状況の確認。

2018年～＜新規則機～【保通協適合】の状況＞

月	パチンコ				スロット			
	適合	不適合	交付計	適合率	適合	不適合	交付計	適合率
1月	***	***	***	***	***	***	***	***
2月	***	***	***	***	***	***	***	***
3月	***	***	***	***	***	***	***	***
4月	4	8	12	33.3%	***	***	***	***
5月	16	20	36	44.4%	4	25	29	13.8%
6月	33	37	70	47.1%	10	28	38	26.3%
7月	24	34	58	41.4%	4	29	33	12.1%
8月	28	41	69	40.6%	5	37	42	11.9%
9月	23	23	46	50.0%	10	32	42	23.8%
10月	32	32	64	50.0%	19	68	87	21.8%
11月	39	34	73	53.4%	20	66	86	23.3%
12月	29	24	53	54.7%	14	50	64	21.9%
合計	228	253	481	47.4%	86	335	421	20.4%

2019年～＜新規則機～【保通協適合】の状況＞

月	パチンコ				スロット			
	適合	不適合	交付計	適合率	適合	不適合	交付計	適合率
1月	36	41	77	46.8%	9	61	70	12.9%
2月	25	63	88	28.4%	15	77	92	16.3%
3月	28	68	96	29.2%	15	50	65	23.1%
4月	35	49	84	41.7%	10	56	66	15.2%
5月	42	32	74	56.8%	19	60	79	24.1%
6月	42	42	84	50.0%	17	59	76	22.4%
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
合計	208	295	503	41.4%	85	363	448	19.0%

■6月の結果は・・・『まあ、想定範囲』でしたね(汗)。

- ・【パチンコ・6月】・・・無難な適合率に収まって、ホッとしています。
⇒注目点①:試験の「やり方」は変わらない。しかし、「試験データの精査」の方法は変化している。
⇒注目点②:相変わらず、「ミドルスペック機適合」が【全体の20%以下】と、まだまだ少ない事には変わらない現実。
- ・【スロット・6月】・・・相変わらずの「適合率・低空飛行」の継続中(涙)
⇒試験結果は、あくまでも、「3月・4月受付申請」～「5月試験の結果」なので、『政治は無関係』と判断。
⇒「不適合の理由」の詳細は不明のままだが、メーカー側には、『詳細が提示されるようになった』との事。

■そして、今後の【遊技機の未来像】を推測。

【パチンコ】・・・

- ⇒「低ベース値」&「高継続」遊技機の試験結果次第での、適合率推移。
- ⇒次世代「管理遊技機」の試験申請と、その試験結果。

【スロット】・・・

- ⇒7月以降の適合は、『そのまま高射幸性機撤去のタイミング』の代替機となる。
- ⇒『不適合詳細が分かった』事で、同一機種「再申請～適合率アップ」は期待できる。

(02)パチンコ業界の「政治活動の未来」像は？

■【7月21日】…自民党から、一人の立候補者【尾立源幸】氏が立った。

【支援団体】…基本的に、『パチンコ業界族議員を作る』として、パチンコ業界支援団体は、以下の2団体となる。

- ・【おだち源幸遊技産業後援会】…業界有志の支援組織で、会長は「全日遊連・21世紀会代表の阿部恭久」氏。
- ・【全日本遊技産業政治連盟】…政治団体(総務省届け出済)として尾立氏推薦。会長は「全日遊連(筆頭)副理事長・伊坂重憲」氏。

＜政治と業界の繋がり＞について…『決して悪い事では無い』上に、パチンコ業界全体論としては『メリットは大きい』と考えられる。

⇒そこで、パチンコ業界が「初めてチャレンジした【政治結果】」について、考えてみよう。

■【尾立源幸】氏(自民党比例区公認・二階派)の選挙結果について。

「自民党獲得票数＝17, 711, 862票」・「当選19人／33人」。「尾立氏の得票数＝92, 881票」(23位)…1人当選の政党票数「約90万票」

⇒もしも、自民党票数が『2, 120万票(あと350万票)獲得していれば…』…尾立さんは当選していた事になる。(汗)

⇒そもそも、尾立氏の得票数の「概ね半分」は、支持母体でもある【獵友会・会計士会】等の後援票でもある。

さて、この先、上記2団体の「行方と未来」は…『どうなる？どうする？』、そして『どこへ向かうのか？』

■ 今後のパチンコ業界への選挙結果の影響について。

＜パチンコ業界⇄警察庁＞の図式は、現在は【風営法議連】と【遊技機基準等PT(プロジェクトチーム)】が中心として担っている。

⇒「2018年11月」に、風営法議連が【遊技機基準等PT】を作った。その後、4回の会合を経て、現在至る。

⇒【風営法議連】の今後の活動状況については、現状では未確認となっている。

■ 色々と噂される【パチンコ業界への逆風】について。

・パチンコ機(日工組)における現実…①選挙の有無は全く関係無く、昨年「10月26日」付けにて、【継続率＝65%の撤廃】

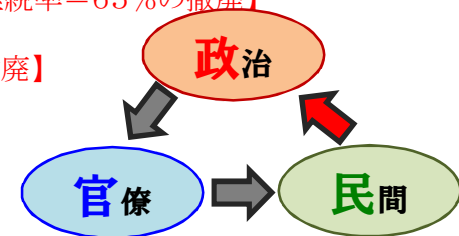
②更に、本年「2月7日」付にて、【64ギガビット制限の撤廃】

③更に、更に、本年「3月20日」付けにて、【賞球数下限値の撤廃】

・ただ、スロット機においては、大きな規制緩和の話は、未だ『耳にはしていない』のが現実でもある。

しかし、「適合率の上昇」は当面の課題である事に間違いは無い。

根底には、「日電協メーカー」&「日工組メーカー」&「非加盟メーカー」と、「3分割」されている事に懸念。



(03)パチンコ～【突破型】&【高継続】のキーワード

■【継続率制限撤廃】で、「継続率」は上がった！

「風営法規則改正(2018年2月1日施行)」から、ちょうど1年後の「2019年2月1日」、「継続率＝65%」内規が撤廃された。
ついでに、【ベースの下限値撤廃】は、「今年・3月20日」の事。(保通協申請は、5月1日から)

■ そもそも…【突破型】スペックって何？

定義をするならば…<①:『初回(特図①)の大当りで、確変突入率が劇的に低い』>事。>

併せて……………<②:『通常当りでの時短引き戻し当り(特図②)で、確変(RUSH)に突入する事』>

つまり、【初回大当りで「通常時短」を当てる。】×【時短中に大当りを引き戻す】…と言う「2段階を突破」して、初めて「確変RUSH」に到達！

■「9月のリリース機」に…「V確ST」機で【突破型】が【4機種集合】！

●【9月1日週】～<Pルパン三世LASTGOLD L9BW4S>

「特賞確率＝1/199.8～1/171.5」・「確変突入率＝5.0%⇒100%」・「ST＝100回」・「時短＝100回」⇒「突破確率＝1/470.3」・「継続率＝89.1%」

●【9月1日週】～<PAぱちんこウルトラセブン2A6>

「特賞確率＝1/99.9～1/89.9」・「確変突入率＝2.0%⇒100%」・「ST＝150回」・「時短＝40回」⇒「突破確率＝1/289.8」・「継続率＝84.0%」

●【9月1日週】～<PAエヴァンゲリオン～超覚醒～YR>

「特賞確率＝1/99.9～1/83.7」・「確変突入率＝10.0%⇒100%」・「ST＝100回」・「時短＝30or100回」⇒「突破確率＝1/198.2」・「継続率＝85.4%」

●【9月1日週】～<P聖闘士星矢4 XBD>

「特賞確率＝1/109.9～1/99.9」・「確変突入率＝2.0%⇒100%」・「ST＝80回」・「時短＝40回」⇒「突破確率＝1/313.3」・「継続率＝80.1%」

■ついでに、【高継続率】の「連チャン回数」を確認してみよう。

【継続率＝たった5%の差】に対して、【打ち手】は…『どう感じるのか？』そして『どう伝わるのか？』ホールは『どう伝えるのか？』

【継続率】と【継続回数】

	旧内規エリア				高継続ミドル		突破型高継続タイプ				特殊高継続タイプ		
継続率	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	87.5%	90.0%	95.0%	96.0%	97.0%
継続回数	2.00	2.22	2.50	2.86	3.33	4.00	5.00	6.67	8.00	10.00	20.00	25.00	33.33

(04) いよいよ現実化！～【消費増税】問題を再確認。

■その「施行期日」は…【2019年10月1日】

【パチンコ産業＝設備投資産業】と言われて久しいが、既存のホールにとって、2019年においても「ホール設備投資」やら「遊技機購入」等を含めた【物的投資】は、『前年対比で100%を超える』事は、ほぼ確実視されている。

- 【受動喫煙対策を含めたホール設備の見直し】は…明らかに「集客・稼働貢献しない」投資⇒「2020年4月」が【タイムリミット】になる。
- 【遊技機撤去による遊技機投資】は…「稼働維持貢献している遊技機を撤去する」リスク⇒償却済遊技機の高粗利化への懸念。
「ムダな買い物をする」可能性も、否定出来ない⇒2019年後半は「スロット」主体？ではパチンコは？

■購入時のボーダーラインは…【98.2%】

税別価格の変動が無い場合、「従来100個買っていた」ならば、10月以降は、「買う数量は98.2個まで」って事になる。

税別価格で言うならば、10月からの買い物は、「ザックリ、2%割引」で税込み価格は変わらない事になります。

但し、「消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法」で禁止されている文言をチェックしておきましょう。

⇒(1)『2%安くしろ！』(2)『代わりに何かしろ！』(3)『税込でこの価格にしろ！』(4)『今後の取引をやめろぞ！』…は法律違反です！

■次期営業戦略として…【外税玉貸金額】への変更。

前もって確認する事がある。⇒「外税玉貸対応＝原価率の低下(＝利益率上昇)」とは全く次元が異なる話ですからね(汗)

最も射幸性が高くなる営業は、【高玉貸単価⇒完全等価営業】であり、未来の「スロット＝46枚交換」は、おそらく最強の戦略となるでしょう。

とりあえず、【景品金額＝内税等価】(P＝4円交換・S＝20円交換)に匹敵する為の原価率は、以下の通り。(原価率＝0.920⇒10.87割営業)

パチンコ～【原価率計算】

【4円パチンコ】	税率＝8%	税率＝10%	4円交換原価率	
<上限単価>	4.32 円	4.40 円		
500円貸玉数	115.7 個	113.6 個	税=8%	税=10%
500円⇒	116 玉	114 玉	0.928	0.912
500円⇒	117 玉	115 玉	0.936	0.920

スロット～【原価率計算】

【20円スロット】	税率＝8%	税率＝10%	20円交換原価率	
<上限単価>	21.60 円	22.00 円		
1000円貸C数	46.30 枚	45.45 個	税=8%	税=10%
1000円⇒	47 枚	46 枚	0.940	0.920

…と言うか、そもそも<玉貸単価の値上げ戦略>って、「稼働」と「台売上」と「粗利」の数字は、状況は…『うまくいっているのか？』

⇒スロットでは、「景品金額が高い」方が『稼働が良い』結果は必然の成り行きに。

いずれにしても、キーワードは…「①【景品金額】>②【原価率】>③【貸玉金額】」の順番である事はお忘れなく！！

(05)スロット～【外税対応ビジョン】と【スケジュール】確認

■ユーザーが求めるモノを提供したい。

- 【ユーザーが求めるモノの提供】の結果は…【集客力アップ】+【稼働貢献力アップ】が伴う結果になる。
- 【ユーザーが求めるモノの順位】とは…(1)景品金額(=高い交換枚数)⇒「5. 5枚」よりも「5. 0枚」交換へ。更に、「47枚」よりも「46枚」交換へ流れる。
(2)交換率(=原価率・分岐割数)⇒最強の「等価営業」を筆頭に、「より高い交換率」の店舗を選択する。
- 【ホール側の都合】とは…【利益率】と【粗利金額】⇒「大人の事情」により【11割分岐】に。「等価営業の利益率低下」は、やはり『ホールは不変』である。

■以下、【11割分岐】営業を基準とした、タイムスケジュールの【メリット】と【リスク】の検証を。

■①既に、【47枚貸し⇒52枚交換にチャレンジ済み】

- 【メリット】…既に、より多くの「先行利益の確保」済み。「10月以降の再チャレンジ」への「情報」と「戦略」と「運用戦略」の経験は終わっている。
- 【リスク】…今後、「4月」・「8月」・【10月1日の46枚貸し⇒50枚交換】・「12月＝高射幸性機入替時」の【後追い店舗への対策】は必須。

■②【4月＝GW前】の商戦時にチャレンジ。

- 【メリット】…先行状況からの「充実した事前情報」収集は、「仕掛けと運用のしやすさ」と、【10月までの半年間の先行利益】の確保が期待できる。
- 【リスク】…しかし、競合店舗からの【追っかけ展開】に対して、「8月盆前」⇒【10月1日】⇒「12月高射幸性機入替時」の対策・対応が必要となる。

■③【8月＝お盆前】の入替商戦時にチャレンジ。

- 【メリット】…競合エリアの先行ホールに対して、更なる対策検証が可能。更に【新機種導入】とのタイミング連動が更に可能となる。
- 【リスク】…エリア内における、10月以降の「46枚貸⇒50枚交換」営業が最大のリスクとなる、「12月高射幸性機入替時」の追っかけ対策も必須。

■④【10月1日＝日本最速の46枚貸し】&【50枚交換】への移行チャレンジが始まる。

- 【メリット】…全国最速の【46枚貸し】そして、11割分岐で【50枚交換】が始まる日となる。
- 【リスク】…以後、最大の難関は「12月＝高射幸性機の大量入替時」での【新台＋50枚交換】が最大の集客力を持つ競合店舗への対策。

■⑤【12月中頃】＝今年【最大の新台入替】合戦と共に…チャレンジ。

- 【メリット】…同じ、11割分岐で【50枚交換】であっても、大量の「新台入替が重なる集客力」は、他の追従を許さないレベルになる。
- 【リスク】…号時に、他「競合店舗」も大量の新台入替の他、【リニューアル】系の施策が行われる。

＜チャレンジに対する留意点＞

- ・「11割分岐営業」として、既に【47枚貸し⇒51・52枚交換】の店舗は、今後の【後追い施策】に最大の注意を。
- ・『これから外税対応を始める』店舗は、先行利益追求よりも、【10月】と【12月】の競合店の「後追い施策」に十分な対策が必須となる。
- 共に、現在の「47枚貸し⇒51・52枚交換」の営業から、10月以降の「46枚貸し⇒50枚交換」への移行は、十分検討されるであろう。
しかしその際の、【ユーザーに与えるインパクト】は、『後発店舗の方が高い』結果となる事が予想され、先行店舗は要注意事案となる。

(06)7月～新規則機の【適合率】と【適合数】を確認。

■新規則機「保通協適合」状況の確認。

2019年～＜新規則機～【保通協適合】の状況＞

月	パチンコ				スロット			
	適合	不適合	交付計	適合率	適合	不適合	交付計	適合率
1月	36	41	77	46.8%	9	61	70	12.9%
2月	25	63	88	28.4%	15	77	92	16.3%
3月	28	68	96	29.2%	15	50	65	23.1%
4月	35	49	84	41.7%	10	56	66	15.2%
5月	42	32	74	56.8%	19	60	79	24.1%
6月	42	42	84	50.0%	17	59	76	22.4%
7月	37	35	72	51.4%	20	53	73	27.4%
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
合計	245	330	575	42.6%	105	416	521	20.2%

2018年～＜新規則機～【保通協適合】の状況＞

月	パチンコ				スロット			
	適合	不適合	交付計	適合率	適合	不適合	交付計	適合率
1月	***	***	***	***	***	***	***	***
2月	***	***	***	***	***	***	***	***
3月	***	***	***	***	***	***	***	***
4月	4	8	12	33.3%	***	***	***	***
5月	16	20	36	44.4%	4	25	29	13.8%
6月	33	37	70	47.1%	10	28	38	26.3%
7月	24	34	58	41.4%	4	29	33	12.1%
8月	28	41	69	40.6%	5	37	42	11.9%
9月	23	23	46	50.0%	10	32	42	23.8%
10月	32	32	64	50.0%	19	68	87	21.8%
11月	39	34	73	53.4%	20	66	86	23.3%
12月	29	24	53	54.7%	14	50	64	21.9%
合計	228	253	481	47.4%	86	335	421	20.4%

■7月の結果は・・・『特に何もありません』(汗)。

- ・【パチンコ・7月】・・・特に・・・何もありませんね。
⇒注目点:一応、【ヘソ＝3個賞球】の試験は始まっている結果。
- ・【スロット・7月】・・・チョイ上昇は、あくまでも【メーカー努力】の結果と捉えて良いレベル。
⇒試験結果は、「5月受付申請」が中心となっている【7月試験の結果】なので、まだまだ『政治は無関係』と判断。

■そして、今後の【遊技機の未来像】を推測。

【パチンコ】・・・

- ⇒今後の【低ベース機】へのチャレンジで、どう推移していくのか？
- ⇒次世代「管理遊技機」の試験申請は、いつになるのか？

【スロット】・・・

- ⇒現状から、「適合率を上げる為の遊技機」の申請になる事の、是・否が問われるかもしれない。
- ⇒【純正Aタイプ】の開発と適合は、「ネクストスロット」への試金石となるのか？

(07)「始動口＝3個賞球」は、【低ベース機】なのか？

■【賞球数内規】の撤廃

賞球に関する「内規撤廃」が発表されたのは、【2019年 3月20日】の事。⇒保通協試験申請は【5月1日から】となった。
詳細としては、【入賞口賞球数の内規が撤廃】なので、単純に『入賞口の賞球は、1個以上』と考えて問題は無い事となる。

設計値一覧(※一例)

		賞球	設計値 (個/分)		※個別計算	
			通常時	確定or時短	通常	確定
1	左上入賞口	4	0.35	0.00	1.40	0.00
2	左中入賞口	4	3.00	0.00	12.00	0.00
3	左下入賞口	4	0.80	0.00	3.20	0.00
4	右入賞口	4	0.01	7.50	0.04	30.00
5	始動口1(※スタート) (特別図柄1)	3	5.80	0.01	17.40	0.03
6	始動口2(※電チュー) (特別図柄2)	1	0.00	50.00	0.00	50.00
7	普通図柄作動口	1	0.01	10.00	0.01	10.00
8	ゲート (普通図柄始動口)		0.01	60.00	0.00	0.00
9	大入賞口	15	—	—		
獲得遊技球数(出玉率)					34.05	90.03
			通常時	28～(34)～38		
			確定or時短	80～(90)～95		

■全ては、【計算値表】の確認から始まる。

【始動口＝3個】＝【低ベース機】とは限らない現実。

- 『S入賞ベース値』が低くなる』のは事実。
⇒しかし、『BY値が高ければ、B値は同じ事。』

- 重要な事は【保通協試験適合】になる。
⇒1時間試験の「ベース下限値」は、【33.33%】以上。
(※大当たりが発生しない場合は、＝通常ベース値となる)

新		
検査時間	出玉率	
	下限値	上限値
1時間	33.3%	220%
4時間	40%	150%
10時間	50%	133.3%

■具体的に、計算値表の「ベース値」を確認してみよう。

リリース	機種名(型式名)	TS帯	下限値 ～ 検定値 ～ 上限値		
9月1日	PAぱちんこウルトラセブン2 A6	89.9～99.9	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	25 ～ (28) ～ 35
9月16日	Pフィーバー機動戦士ガンダム逆襲のシャア Z	199.8	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	26 ～ (33) ～ 36
9月16日	PIぱちんこ新鬼武者 ズバババ90XX9	319.9	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	30 ～ (33) ～ 40
10月6日	PAスーパー海物語INジャパン2 MG	99.9	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	24 ～ (32) ～ 34
10月6日	Pツインループ花満開 XD	319.7	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	28 ～ (33) ～ 38
10月6日	P義風堂々！！～兼続と慶次～2 M3-X	199.8	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	32 ～ (34) ～ 42
10月6日	P義風堂々！！～兼続と慶次～2 M6-X	199.8	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	27 ～ () ～ 37
10月6日	P浜崎あゆみ KG-JJF(設定なし)	193.8	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	28 ～ (32) ～ 38
10月6日	P浜崎あゆみ KG-F(設定あり)	185～198	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	28 ～ (34) ～ 38
10月20日	Pクイーンズブレイド3 S1E	319.9	獲得遊技球数(出玉率)	通常時	32 ～ (37) ～ 42

【注視すべきポイント】

- ホール営業上では、「下限値」の数値。
- 検定上の数値は、()内の数値。

(08)「参院選」終わって…「政治的」な【ロビー活動】は？

■早々、「8月5日」に【議連会議】が執り行われた。

- (1):【風営法議連】とは？…正式名称は、【時代に適した風営法を求める議員連盟】で、「自民党内の議員連盟」。設立は「2014年2月14日」
- (2):【遊技機基準等PT】とは？…元々は「2018年11月28日」に、「風営法議連」と「警察庁」と「パチンコ業界陣」との間に、【依存問題】と、【出玉規制】についてヒアリング会合が開催された。⇒その場にて、「議連主導」で【遊技機基準等プロジェクトチーム】の設置が決定。
- (3):過去【遊技機基準等PT】の招集…「1回目～3月12日」⇒「2回目～3月28日」⇒「3回目～4月12日」⇒「4回目～4月25日」との4開催。同日、＜議連＞から＜国家公安委員会＞に【遊技機基準等の関する提言】書を提出した。

■早々、「8月5日」に【議連会議】が執り行われた。

【8月5日】…「自民党本部・会議室」にて、【議連会議】が行われた。

基本的議論は、「4月25日の提言」についての『警察庁側の回答を求めた』事と、業界団体から『厳しい現状を訴えた』に過ぎないが…

- ①【試験適合を容易にする為の施策・努力・改善】について……「試験方法・不適合理由の開示の検討」
- ②【遊技機のゲーム性・エンターテインメント性向上の為の環境整備】について……「運用基準の解釈の見直しの検討」、
- ③【上記について、警察当局と業界との協議の定期的開催】について……「今後も業界との連絡会を設ける」
- ④【ギャンブル依存症との因果関係に対して、制度の在り方の検討】について……「ギャンブル依存の研究・報告のデータ集積していく」
- ⑤【今後のキャッシュレス社会へのイノベーション促進への配慮】について……「ATM設置は法令違反では無い事を通知」

…と、4月25日の【5つの提言】に対する回答を得た。

■『業界の厳しい現状』の打開とは？

具体的には、「メーカー側」も、「ホール側」も、【適合率の上昇】が望まれている様だが、望む結果は『その数値上昇だけで良いのか？』

本来、メーカー側は『遊技機が売れる事を望んでいる』訳で、ホール側は『稼働貢献の高い機種のリリースを望んでいる』事になる。

⇒つまり、相互的に、「遊技機を売る」・「遊技機を買う」と言う概念は共有出来ている。

しかし、ホール側としては、『何でも良いから、多くの機種をリリースして欲しい』訳では無い。『稼働貢献する遊技機が欲しい』のである。

メーカー側も、売れない様な遊技機の適合数が増えたところで、全く意味が無い。問題は「複数回の試験」に対する「無用な費用と時間」にある。

⇒そもそも、「適合率が上がる」＝「良い機械が出る」と言う事では無い。

⇒ただ、「適合率が上がった」結果として、「適合機種数が増え」て、「良い機械の機種数は増える」…『かもしれない』事は否定できない。

(09)「再確認！」・・・【高射幸性機】の認定切れ撤去の台数。

■【2019年・後半期】の「高射幸性機撤去」を再確認。(日電協発表・6月末数値)

No	型式名・機種名	メーカー	検定日 (東京都)	認定満了 年度	設置台数					3月⇒6月 増減台数
					2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年3月	2019年6月	
18	絶対衝激2G	アリストクラート	2013/1/15	2019年	75 台	71 台	49 台	4 台	3 台	-1 台
19	アントニオ猪木が伝説にするパチスロ機P	オリンピア	2013/1/28	2019年	107 台	102 台	99 台	3 台	3 台	0 台
20	オニハマバクソウグレンタイ3S	ベルコ	2013/2/12	2019年	114 台	108 台	107 台	4 台	4 台	0 台
21	新鬼武者AW	ロデオ	2013/2/18	2019年	346 台	336 台	323 台	3 台	2 台	-1 台
22	パチスロ北斗の拳 転生の章ZA	サミー	2013/4/8	2019年	13,691 台	12,732 台	12,676 台	2,509 台	50 台	-2,459 台
23	カイジ3S	銀座	2013/6/10	2019年	631 台	599 台	614 台	577 台	38 台	-539 台
24	パチスロAKB48P	京楽	2013/6/10	2019年	279 台	273 台	270 台	239 台	12 台	-227 台
25	戦国乙女 剣戟に舞う白き剣聖A1	オリンピア	2013/6/24	2019年	86 台	80 台	84 台	86 台	10 台	-76 台
26	デビルメイクライ4 覚醒YA	エンターライズ	2013/6/24	2019年	44 台	45 台	51 台	54 台	7 台	-47 台
27	化物語ZX	サミー	2013/8/26	2019年	4,563 台	4,457 台	4,486 台	4,538 台	4,268 台	-270 台
28	マジカルハロウィン4KA	KPE	2013/8/26	2019年	170 台	166 台	166 台	179 台	174 台	-5 台
29	花の慶次〜これより我ら修羅に入る〜Y	ニューギン	2013/9/5	2019年	93 台	101 台	103 台	110 台	107 台	-3 台
30	パチスロラブ嬢A1	オリンピア	2013/9/13	2019年	4,392 台	4,326 台	4,363 台	4,347 台	4,272 台	-75 台
31	エウレカセブン2ZZ	サミー	2013/9/24	2019年	2,894 台	2,828 台	2,869 台	2,910 台	2,799 台	-111 台
32	吉宗A3	大都技研	2013/10/7	2019年	115 台	113 台	109 台	115 台	114 台	-1 台
33	獣王ZS	サミー	2013/10/28	2019年	361 台	346 台	371 台	456 台	438 台	-18 台
34	魔法少女まどか☆マギカA	メーシー	2013/10/28	2019年	26,952 台	26,556 台	26,669 台	25,080 台	25,890 台	810 台
35	モンスターハンター月下雷鳴ZX	エンターライズ	2013/12/9	2019年	14,360 台	13,944 台	14,289 台	14,940 台	15,212 台	272 台
36	アナザーゴッドハーデス-X	ミズホ	2013/12/16	2019年	45,201 台	44,466 台	44,979 台	44,972 台	44,394 台	-578 台
37	バジリスク絆TK	エレコ	2013/12/16	2019年	62,153 台	61,472 台	61,321 台	61,649 台	61,420 台	-229 台
38	主役は銭形2B5	オリンピア	2013/12/24	2019年	2,258 台	2,187 台	2,245 台	2,267 台	2,295 台	28 台
39	ラグランジェZR	サミー	2013/12/24	2019年	292 台	286 台	293 台	312 台	315 台	3 台
40	パチスロ聖闘士星矢黄金激闘編YL	三洋物産	2013/12/24	2019年	103 台	105 台	105 台	103 台	104 台	1 台
年度合計				2019年	179,280 台	175,699 台	176,641 台	165,457 台	161,931 台	-3,526 台
					(9月以降計)					99 台
										157,261 台
										157,360 台

■2019年・【3月⇒6月】の「高射幸性機撤去」の特徴。

- ・「認定切れ」となっていた多人数機種(太字台数)の、大きな台数減少が確認できる。⇒8月の「化物語ZX」の残台数が気になるところ。
- ・【まど☆マギ】・【モンハン】・【銭形】の「増台」が確認できる。⇒「グループ店舗保管」や「M&A」等による、＜認定機の再設置＞と推測される。
- ・いずれにせよ、「6月末」時点で、＜高射幸性機の残存台数＞は、「161,931台」に及ぶ。

※【全77機種の詳細】は、別紙参照にてご覧ください。

(10)これから先、【全国を想像する】事が、重要な思考になる。

■メーカー側の「販売予定」台数ではなく、全国の【案件台数】を精査する思考が必要になる。

ホールもメーカーも、**基本的には【エリア思考】**となっている。⇒「**当然の事**」であり、エリアビジネスである以上、他のエリアは直接的には無関係。

⇒しかし、＜ホール企業＞は、「M&A」では【**全国を視野**】に入れており、＜メーカー＞も「販売台数」は、あくまでも【**全国の台数**】となる。

そして、その影響は、『**結果的に「1エリア」・「1店舗」と言う、拠点への影響に出てくる**』事になる。

【エリアマーケティング論】では、「地域商圏」は重要ではあるが、「俯瞰的視野」は、『**新しい時代への対応に、必ず必要となる**』

■そこで、【質問】と【答え】から、「俯瞰的思考」を深めてみよう。

Q1: 2019年の【新規開店店舗数】は…「100店舗を超えるか？」

	以上	未満
東京	9	10
長野	8	5
広島	39	42

<参考>	6ヶ月の新規店舗数	
	2019年	2018年
1月～6月	37	32
年間結果	???	95

【新規開店】には、「M&A」等による法人変更も含まれる。

Q2: 2019年の【閉店・店舗数】は…「500店舗を超えるか？」

	以上	未満
東京	12	7
長野	6	7
広島	57	17

<参考>	6ヶ月の新規店舗数	
	2019年	2018年
1月～6月	224	311
年間結果	???	509

【閉店店舗数】は、「完全クローズ店」だけとは限らない。「店舗名変更は無い」が、法人変更の場合も含まれる。

Q3: 【Sまど☆マギ劇場版】の「4週目(9月23日～29日)」の…「平均IN枚数は？」

	1.5万以上	1.5～1.3万	1.3～1.1万	1.1万～9千	9千～7千	7千以下
東京	6	9	2	2	0	0
長野	2	3	8	0	0	0
広島	4	14	42	14	2	0

全国【導入予定日】は「9月1日週」となる。
初週導入台数は「2万台」程度と想定。
その後、「4週目＝〇万台」と想定する。

Q4: 【P海ジャパン2～太鼓の達人】の、「全国ホール」希望の…「案件台数の合計は？」

	3万未満	3万～4万	4万～5万	5万～7万	7万～9万	9万以上
東京	0	0	5	11	2	0
長野	0	2	5	4	1	0
広島	1	2	29	39	7	0

メーカー当初の販売予定台数は「5万台」。
全国【案件台数の収集】は「7月中」に完了。
納品日にも影響が出る事は想定出来る。

(11)【喫緊の課題】のまとめ。～「消費増税」&「健康増進法」

■2019年「10月1日」～いよいよ【8%⇒10%】に。

●パチンコ店における【消費増税】問題は、基本的に『3つ』ある。

- (1): 企業法人における【増税による支出増】⇒主に「賞品仕入れ」における、「預かり消費税(差額)」の増税分の負担増。
- (2): 玉貸し料金(税込金額)の【価格変更】⇒スロット＝最高額「56枚/1,000円」・パチンコ最高額「114玉/500円」まで可能。
- (3): 「食料品」の【軽減税率】対応⇒「賞品提供のみ」なのか? 「店内飲食提供」なのか? 提供賞品の「税率の違い」はあるのか?

(2)の遊技料金(税込)の変更は、「損益分岐割数の基準値」を見直すきっかけになるが・・・

⇒【分岐割数】の検討・・・「10.0割」・「10.64割」・「10.87割」・「11.0割」・「11.2割」・「12.0割」・「13.0割」・・・と選択肢はある。

⇒【貸玉料金変更】を前提の場合・・・具体例として<スロット～46枚貸⇒50枚交換><パチンコ～115玉貸⇒125玉交換>が検討課題。

●あと残る問題は、「組合規定・ルール」に準ずる営業となるが、重要な【キーワードは3つ】ある。

- ①: 【交換率】・・・ユーザーは「等価交換を支持する」とは限らない。例えば「10スロ・2パチの等価営業」でも、ユーザー支持は無い
- ②: 【出玉率】・・・「出玉率＝100%を超える営業」に希望はある。しかしユーザーは『その判断が出来ない』事もまた事実。
- ③: 【景品金額】・・・「出玉性能が下がっている」現状から、景品金額を上げる方が、ユーザー支持は得られやすいと想定される。

問題は、『どの観点(キーワード)でモノを語るのか?』『ユーザー支持はどの観点なのか?』そして『利益貢献なのか? 集客貢献なのか?』

■【店内喫煙可能】のリミットは、「2020年3月31日」までとなる。

十分に周知されている【改正・健康増進法】と、各【受動喫煙防止条例】だが、ホール対応のタイムスケジュールは・・・

★【現在・対応済み】

「喫煙室設置」済み。
⇒「店内禁煙」or「喫煙可」。

★【現在】～【増税前対応】

消費増税前に、「契約」済み。
⇒全面禁煙? 店内喫煙可?

★【年内対応】～【期間内】

「喫煙室」の設置予定。
⇒全面禁煙? 店内喫煙可?

★【リミット後の対応】

「全面禁煙化」は必須。
⇒店外喫煙になる。

対応の原則は、『店内に喫煙室を設ける事』になるのは必須事項である。そして「そのタイミング」は『施行猶予期限まで』ならば、いつでも良い。

●議論すべき事は、【店内喫煙可能】の状態を、『いつまで続けるのか?』・・・だけに絞られる。

⇒基本的には、「喫煙室設置」しても、喫煙可能のまま継続しておく方がベターな選択となる。施行後は「全国一斉禁煙」に移行する事になる。

●もう一つの議論は、パチンコスリープ層、及びパチンコ離反層の中にいる、『喫煙者の【喫煙来店】を促す事が出来るか?』がある。

⇒街にある、数少ない【安心の喫煙所】としての『存在感が提供できるか?』または、『その方向性に移行できるのか?』